



AMX-52 ベルト織りのバッグ

デザイナー / 岡本啓子 製作 / 木戸典子

●使用織り機…オリヴィエ〈織美絵〉

●使用糸

使用糸 (ハマナカ手あみ糸)	色番	色	オリヴィエ〈織美絵〉 使用量
フラックスK	No.205	①(からし色)	4玉
	No.16	②(灰紺)	1.2玉
	No.203	③(赤)	0.4玉
	No.207	④(みどり)	0.3玉
エコアンダリヤ	No.69	⑤(レトロイエロー)	1.7玉

●使用ヘドル…30羽 (本体：20本/10cm、持ち手：30本/10cm)

●その他の道具…長さ10cmくらいの定規

●他に用意するもの…接着テープ (幅1cm×長さ38cmを2枚)

●ヨコ糸密度…本体：82段/10cm、持ち手：約26段/10cm

●織り上がり寸法…本体：長さ74cm、幅38cm

持ち手：長さ100cm、幅7cm

●作り方

※本体、持ち手の2回に分けてタテ糸を準備して別々に織る。

1 タテ糸を本体は図のとおり、持ち手は配色どおり張る。

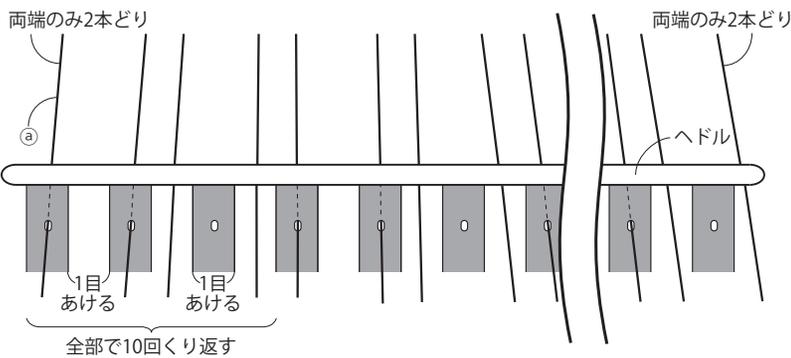
本体

タテ糸の本数…①82本 (両端2本どり分含む)

ヘドル通し幅…約40cm

タテ糸の長さ…121cm

〈タテ糸の通し方〉



持ち手

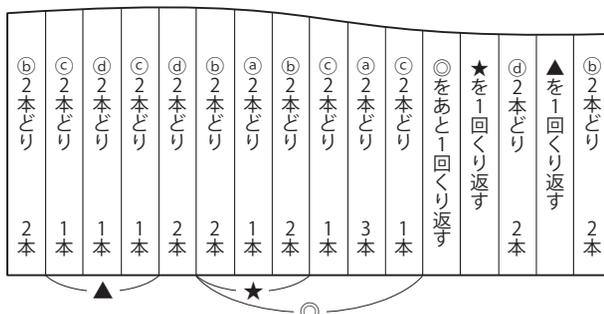
タテ糸の本数…①2本どり×9本、②2本どり×16本、③2本どり×8本、

④2本どり×6本 (合計78本)

ヘドル通し幅…13cm

タテ糸の長さ…150cm

〈タテ糸配色〉



表記の寸法は織り上がり寸法です。

織っている最中は、糸が引っ張られた状態です。

織り機からはずすと約10%織り地が縮みます。

織るときは縮み分を考慮し、

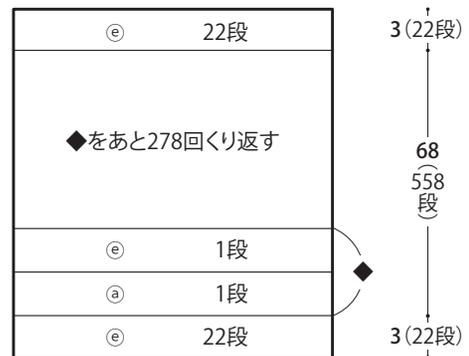
打ち込みの力加減と織る長さを調整しましょう。

※縮み分は糸の種類や模様によって変わります。

2 ヨコ糸を指定どおり、本体はラヌ織り、持ち手はベルト織りで織る。

本体

〈ヨコ糸配色〉



〈ラヌ織り〉

タテ糸が隠れるくらいヨコ糸を詰めて織る。

持ち手

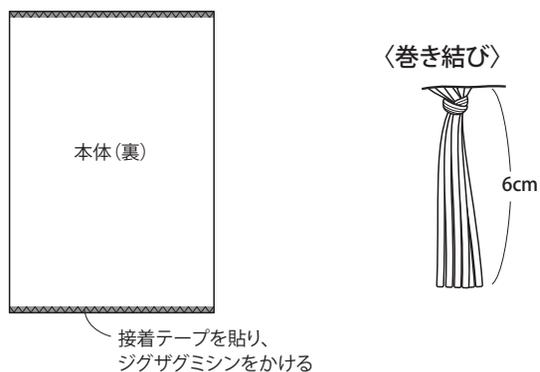
〈ヨコ糸配色〉



〈ベルト織り〉

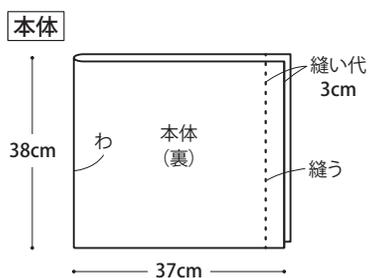
ゆとり分をとらず (角度をつけず) ヨコ糸を通し、
定規で強く打ち込む。織幅が7cmになるようにヨコ
糸を引いて調整しながら織り進める。

3 本体の織端に接着テープを貼り、ジグザグミシンをかけてフサを短く切る。持ち手は6本1組（2本どり×3本）で巻き結びし、6cm丈に切りそろえる。

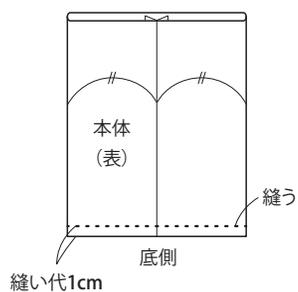


4 仕立てる。

① 本体の端どうしを中表に縫う。



② 縫い代を割って中央にずらし、底側を縫う。



③ 図のように本体と持ち手を縫い合わせる。反対側も同様に縫い合わせる。

